

第63回 日経広告賞を受賞

—エン・ジャパンの人材紹介サービス『エン エージェント』—

人材採用・入社後活躍のエン・ジャパン株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：鈴木孝二）は、日本経済新聞社が主催する第63回日経広告賞の「人材・教育・公共部門 優秀賞」を受賞しました。当該広告はエン・ジャパンの人材紹介サービス『エン エージェント』（<https://enagent.com>）の広告として、2014年2月4日・12日・18日・25日と計4種類が掲載されました。入社や採用がゴールではなく、入社後の人生までの支援にこだわる人材会社であることを伝えた広告です。

■ 掲載広告概要（2014年2月4日）

ある意味で、効率の悪い人材会社を目指しています。

エン・ジャパンでは「入社＝転職成功ではない」と考えています。本当の意味で「転職に成功した」と言えるのは、入社された企業に腰を落ち着け、活躍されてこそ、と考えるからです。「入社後の活躍」に向けて、さまざま取り組みを行っています。

エン・ジャパン株式会社

ある意味で、 効率の悪い 人材会社を 目指しています。

言われると困る会社もあると思いますが、正直に言います。

新卒、転職に問わず、ほとんどの人材会社は、「入社」をもって就職の成功とみなす、というのが常識です。

「入社」をもって成功とみなす。一見、当然のことと思われかもしれませんが、しかしこれは辛口に言い換えれば、「入社後のことについては、当社は基本的に関知しません」ということでもあるのです。

あくまで「人材業」という生業を「事業効率」ということのみで考えるのならば、それでありかもしれません。しかし、当の「人材」本人からしたらどうでしょう。「人材」を採用する企業からしたらどうでしょう。

本当に大切なのは、本人から見れば、「そこに入社した後、どれだけ生き生きと活躍できるか」ということ。企業から見れば、「採用した人材に、どれだけ貢献してもらえるか」ということ。

しかしこれまでの人材会社の多くは、(日本のみならず世界的にも)この「入社後」についてのことを教えて無視してきました。繰り返しになりますが、この、係わるほどに面倒な「入社後」のことにタッチしないほうが事業的には効率がいいからです。

そういう意味で、私たちエンのスタンスは、営業事業としては決して効率的ではないかもしれませんが、なぜなら、私たちの目論見は人材の「入社」のみならず、その人の「入社後の活躍」に重きを置いているからです。

エンはこれまでも、専業主婦の「良いところ」も「良いとは言えないところ」も、独自に取材して人材側に正直に伝える、という他社にはできない姿勢を貫いてきました。

それに加え、その人材と企業の相性、「マッチング」をより精緻に高めるシステムを独自に開発してきました。

さらに今後は、「入社後」にわたる、その人材への様々な支援、採用企業から見ればその人材の「活躍・定着」をフォローする新しいシステムを実現していきます。

人を活かす。そして企業を活かす。結果、それがこの国のこれからに欠かせない、新鮮な活力に結びついていく。そのために、目先の効率だけを考えない、私たちエンがある。

「企業人気度」あるいは「とりあえず収入増」などという目先のことだけを見ていない求職者、そしてそういう人材と共に成長していきたいと思う企業に、これからこそ、積極的に使っていただける存在でありたいと思います。

入社後の人生まで。



0120-3140-96 (受付時間: 平日10:00-18:00) corp.en-japan.com

エン・ジャパン株式会社 〒163-3123 東京都新宿区西新宿9-1-1 新宿アストリシティタワー 東証1部、2部、3部、4部、5部、6部、7部、8部、9部

